

---

～用語解説～

## 用語集

| 用語                        | 内容   |
|---------------------------|--|
| 魚つき保安林<br>(うおつきほあんりん)     | 水面に対する森林の陰影の投影、魚類等に対する養分の供給、水質汚濁の防止等の作用により魚類の生息と繁殖を助けます。   |
| 枝打ち・枝おろし<br>(えだうち・えだおろし)  | 樹木の枝を、目的に応じて適度に除去する作業です。ある高さの幹の直径成長量は、その高さより上部にある葉の量に比例するので、幹の形を整え、また下草の成長などに影響する森林内の明るさを制御する目的で行います。  |
| 皆伐<br>(かいばつ)              | 一定範囲の樹木を一時に全部又は大部分伐採する主伐の一種です。   |
| 干害防備保安林<br>(かんがいぼうびほあんりん) | 洪水、濁水を緩和し、又は各種用水を確保する森林の水源涵養機能により、局所的な用水源を保護します。   |
| 間伐<br>(かんばつ)              | 育成段階にある森林において樹木の混み具合に応じて育成する樹木の一部を伐採(間引き)し、残存木の成長を促進する作業です。この作業により生産された丸太が間伐材です。一般に、除伐後から、主伐までの間に育成目的に応じて何回か行われます。主伐と異なり、伐採後、次の世代の樹木の育成を伴いません。                             |
| 更新<br>(こうしん)              | 森林の樹木の世代交代のことです。目的に応じた樹種を早く、効率的に世代交代できるのが人工林施業の利点です。   |
| 作業道<br>(さぎょうどう)           | 林道を補完し、除間伐等の作業を行うために作設される簡易な構造の道です。  |
| サンプスギ                     | 山武地方において古くから育てられてきた挿し木スギの一品種(クローン)です。発根性が良く挿し木による苗木づくりが容易で、年間の降雨量が少なくスギの適地が少ない本県の環境でも植栽後の成長が比較的早く(早生型)、材質も優れていることから、特に戦後は広く植栽されました。雄花(花粉)はほとんど着けません、スギ非赤枯性溝腐病に弱い特性も持っています。 |
| 下刈り<br>(したがり)             | 植栽した苗木の生育を妨げる雑草や灌木を刈り払う作業です。一般に植栽後の数年間、毎年、春から夏の間に実施。造林地全面を刈り取る全刈り、植栽した苗木の列に沿って帯状に刈り取る筋刈りなどの方法があります。  |
| 主伐<br>(しゅばつ)              | 次の世代の森林の造成を伴う森林の一部または全部の伐採です。  |

| 用語  | 内容  |
|---|---|
| 人工林<br>(じんこうりん)   | 苗木の植栽、種子のまき付け、さし木等の人為的な方法により造成した森林のことです。  |
| 森林環境税及び森林環境譲与税に関する法律<br>(しんりんかんきょうぜい)<br>(しんりんかんきょうじょうよぜいにかんするほうりつ) | 平成 31 年 4 月 1 日施行しました。自然的条件が悪く、採算ベースに乗らない森林について、市町村自らが管理を行う新たな制度を創設することを踏まえ、パリ協定の枠組みの下における我が国の温室効果ガス排出削減目標の達成や災害防止等を図るための森林整備等に必要な地方財源を安定的に確保する観点から、国民一人一人が等しく負担を分かち合って我が国の森林を支える仕組みとして創設された制度に関する法律です。 |
| 森林経営管理法<br>(しんりんけいえいかんりほう)  | 平成 31 年 4 月 1 日施行しました。適切な経営管理が行われていない森林の経営管理を、意欲と能力のある林業経営者に集積・集約化するとともに、それができない森林の経営管理を市町村が行うことで、森林の経営管理を確保し、林業の成長産業化と森林の適切な管理の両立を図るための制度に関する法律です。   |
| 経営管理権<br>(けいえいかんりけん)  | 森林所有者の委託を受けて伐採等を実施するために市町村に設定される権利です。   |
| シェイプデータ   | 図形情報と属性情報をもった地図データのことで、本計画の場合、どのような性質や特徴を持った森林がどこに位置しているかを指します。   |
| 森林計画図<br>(しんりんけいかくず)  | 5 千分の 1 縮尺の地形図に、林班界及び小班界が記入されているものです。   |
| 森林計画制度<br>(しんりんけいかくせいど)   | 森林の木材生産やさまざまな公益的機能を発揮させるのに必要な森林施業(造林、保育、間伐、主伐など)について森林法で定められた計画体系です。全国レベルの全国森林計画(国が作成)、都道府県レベルの地域森林計画(都道府県が作成)、市町村レベルの市町村森林整備計画(市町村が作成)、森林所有者等が自主的に作成する森林経営計画があります。                                     |
| 森林簿<br>(しんりんぼ)  | 森林の所在地や所有者、面積や森林の種類、材積や成長量などの森林に関する情報を記載した台帳のことです。森林簿は、空中写真及び聞き取り等による間接調査により作成していますので、林況及び所有界は現地において実測又は確認を行っていません。   |

| 用語                                      | 内容   |
|---|--|
| 水害防備保安林<br>(すいがいぼうびほあんりん)               | 河川の洪水時における氾濫にあたって、主として樹幹による水制作用及びろ過作用並びに樹根による侵食防止作用によって水害の防止・軽減を図ります。                                |
| 水源かん養保安林<br>(すいげんかんようほあんりん)             | 流域保全上重要な地域にある森林の河川への流量調節機能を安定化し、その他の森林の機能とともに、洪水、渇水を緩和したり、各種用水を確保したりします。                             |
| スギ非赤枯性溝腐病<br>(すぎひあかがれせいみぞぐされびょう)        | 木材腐朽菌による幹の腐朽が進行する病害のことです。この病気は、材としての利用価値を著しく低下させ、また被害木を放置した場合には風倒・折損による森林の荒廃につながることから、大きな問題となっています。  |
| 生物多様性<br>(せいぶつたようせい)                    | すべての生物の間には違いがあり、生物の種の内部(遺伝子)での多様性、種の多様性、生態系の多様性など、各々の段階でさまざまな生命が豊かに存在することをいいます。                      |
| ゾーニング                                   | 森林の多面的機能を十分に発揮するための森林区分の方法です。  |
| 単層林<br>(たんそうりん)                         | 同一種の樹木により構成されている森林のことです。   |
| 地域森林計画対象民有林<br>(ちいきしんりんけいかくたいしょうみんゆうりん) | 森林法第5条に基づき、都道府県知事が5年ごとに10年を1期として策定する地域森林計画の対象となる民有林のことです。民有林とは、国が所有する国有林以外の森林のことです。                  |
| 潮害防備保安林<br>(ちょうがいぼうびほあんりん)              | 津波又は高潮に際して、主として林木の樹幹によって波のエネルギーを減殺するほか、空気中の海水塩分を捕捉して塩害を防止します。  |
| つる切り<br>(つるきり)                          | 植栽後の初期の間は、クズ、フジなどのつる植物が植え付けた苗木の幹に巻き付いたり、樹冠を被ったりすることがあります。ナタで切り取り、除草剤処理によってこれを取り除く作業のことをいいます。         |
| 天然林<br>(てんねんりん)                         | 自然の推移に委ね、主として自然の力を活用すること(天然更新)により、保全・管理されている森林のことです。   |
| 土砂崩壊防備保安林<br>(どしゃほうかいぼうびほあんりん)          | 崩落土砂による被害を受けやすい道路、鉄道その他の公共施設等の上方斜面等において、主として林木の根系の緊縛その他の物理的作用によって林地の崩壊の発生を防止します。                     |
| 土砂流出防備保安林<br>(どしゃりゅうしゅつぼうびほあんりん)        | 下流に重要な保全対象がある地域で土砂流出の著しい地域や崩壊、流出のおそれがある区域において、林木及び地表植生その他の地被物の直接間接的作用によって、林地の表面侵食及び崩壊による土砂の流出を防止します。 |
| なだれ防止保安林<br>(なだれぼうしほあんりん)               | 森林によって雪庇の発生や雪が滑り出すのを防いだり、雪の滑りの勢いを弱めたり、方向を変えたりすること等により雪崩を防止します。                                       |
| ナラ枯れ<br>(ならがれ)                          | カシノナガキクイムシが媒介するナラ菌により、ミズナラ等が枯損することです。  |

| 用語                      | 内容   |
|-------------------------|--|
| 伐期<br>(ぼつき)             | 主伐が予定される時期のことです。   |
| ヒートマップ                  | エリアごとにデータの数値を強弱で色分けしたグラフのことです。   |
| 飛砂防備保安林<br>(ひさぼうびほあんりん) | 海岸の砂地を森林で被覆することにより飛砂の発生を防止し、飛砂が海岸から内陸に進入するのを遮断防止することにより、内陸部における土地の高度利用、住民の生活環境の保護をはかります。 |
| 標準伐期齢<br>(ひょうじゅんぼつきれい)  | 地域を通じた標準的な立木の伐採(主伐)の時期に関する指標です。  |
| 複層林<br>(ふくそうりん)         | 複数種の樹木により構成されている森林のことです。   |
| 保安林<br>(ほあんりん)          | 水源のかん養等特定の公益目的を達成するため、農林水産大臣又は都道府県知事によって指定される森林です。伐採や土地の形質の変更等が規制されています。                 |
| 保育<br>(ほいく)             | 更新を終了してから伐採するまでの間に、樹木の育成を促すために行う下刈り、除伐などの作業の総称です。  |
| 防火保安林<br>(ぼうかほあんりん)     | 耐火樹又は防火樹からなる防火樹帯により火炎に対して障壁を作り、火災の延焼を防止します。  |
| 防雪保安林<br>(ぼうせつほあんりん)    | 飛砂防備保安林や防風保安林と同様の機能によって吹雪(気象用語では「飛雪」といいます。)を防止します。                                       |
| 防風保安林<br>(ぼうふうほあんりん)    | 林冠をもって障壁を形成して風に抵抗してそのエネルギーを減殺・攪乱することにより風速を緩和して風害を防止します。                                  |
| 防霧保安林<br>(ぼうむほあんりん)     | 森林によって空気の乱流を発生させて霧の移動を阻止したり、霧粒を捕捉したりすることで霧の害を防止します。                                      |
| 目標林型<br>(もくひょうりんけい)     | 目標とする森林の姿のことです。  |

| 用語                                       | 内容   |
|--|--|
| 落石防止保安林<br><small>(らくせきぼうしほあんりん)</small> | 林木の根系によって岩石を緊結固定して崩壊、転落を防止したり、転落する石塊を山腹で阻止したりすることで、落石による危険を防止します。  |
| 林相<br><small>(りんそう)</small>              | 林相とは、樹種・樹齢・樹冠などによる森林の状況・形態のことです。   |
| 林相区分図<br><small>(りんそうくぶんず)</small>       | 森林を構成する樹木の種類や粗密、林齢、成長状態などによって示される森林の外見です。一般に常緑広葉樹林、落葉広葉樹林、針葉樹林などの区分をいいます。                                    |
| 林班<br><small>(りんぱん)</small>              | 森林資源管理上の単位で、字界、天然地形または地物をもって区画したものです。林班をさらに細かく細分したものが準林班、小班です。   |
| 林齢<br><small>(りんれい)</small>              | 森林の年齢です。人工林では、苗木を植栽した年を1年生とし、以後、2年生、3年生と数えます。  |
| 老齢林<br><small>(ろうれいりん)</small>           | 伐期に達した立木の平均材積成長量が低下している森林です。通常、成長の早い樹種では50年までを壮齢林とし、それ以上を老齢林とします。また、成長の遅い樹種では、80年までを壮齢林、それ以上を老齢林とする分け方もあります。 |
|  |  |